

ヤンちゃん通信

No.28/2024.5

5、6月号のテーマは…

俺たちのサブキャラ



時に主人公の相棒として、ライバルとして、マスコットとして、物語に花を添えるサブキャラ。彼らの魅力に迫ります。



『まほろ駅前多田便利軒』

三浦しをん/文藝春秋/B913.6 ミウ
便利屋を営む多田の元に高校時代の同級生・行天が転がり込み、様々な依頼をこなしていくストーリー。“サブキャラ”ともいえる行天の、破天荒だけど心優しいそのキャラクターにハマること間違いなしの一冊です。

『ミミズクと夜の王』

紅玉いづき/KADOKAWA/B913.6 コウ
全ての始まりは、美しい月夜だったー。主人公のミミズクは死にたがりや。彼女に感情を教えた夜の王の、人間嫌いでぶっきらぼうだけど思いやりのある一面に心惹かれる作品。

『真夜中のパン屋さん』

大沼紀子/ポプラ社/B913.6 オオ
暮林たちが営むパン屋さんは、真夜中にだけ開きます。彼らの元に訪れるのは、昼夜問わず徘徊する小学生、望遠鏡での人間観察が趣味の元ストーカー、ニューハーフのホームレスと、クセの強すぎる人ばかり！

『週末探偵』

沢村浩輔/文藝春秋/913.6 サワ
湯野原海は、大学からの友人で主人公の瀧川一紀を誘って、週末だけの探偵事務所を開業。時折舞い込む「ささやかな謎」を、2人で解き明かしていく。ゆるそうに見えるくせに結構鋭い湯野原、推せます。

『バッテリー』

あさのあつこ/教育画劇/アサ
豪は中学入学前に自信家の天才ピッチャー・巧と出会った。豪は巧とバッテリーを組みたいと望むが…。主人公ではないけれど、巧の良き相棒=バッテリーとして中学野球に挑む豪にご注目。